

第7期第10回あま市まちづくり委員会 議事要旨

と き 令和8年1月19日（月）

午後2時～午後3時30分

ところ あま市役所 2階 D会議室

1. 出席者等

委 員	13名
事務局	4名
傍聴人	0名

2. 委員長あいさつ

3. 議題

提言書（案）の最終確認及び第8期の調査審議事項について、事務局案に対して意見聴取を行った。主な委員意見は以下の各項目のとおり。

(1) 提言書（案）について

委員からの意見はなく、提示案で承認。

提言書（案）の（案）を削除し、正式な提言書として採用。

(2) 第8期あま市まちづくり委員会の調査審議事項について

《委員長》

市民活動団体とは、共通の課題解決や理想のために集まる組織である。協働とは、行政と団体が対等な立場で協力し、1+1を3にも4にもすること。第8期ではこの「協働」をあま市に浸透させ、事業を増やすことをテーマとしたい。

《委員》

資料にある「市民協働が必要だと感じている人の割合」は、どのような調査に基づいているのか。

《事務局》

総合計画策定時のアンケートによるものである。18歳以上の市民3,000名を無作為抽出し、郵送調査を行った結果、72%が必要と回答した。

《副委員長》

第8期は範囲が広いと感じるが、具体的に委員会でどのような情報が提供され、話し合われるイメージか。

《事務局》

当市の協働事業の全体像を可視化し、他市の先進事例を調査する。その上で、委員の知見を借りてワークショップや講演会等の企画を練りたい。また、既存の団体だけでなく、個人や若者、企業も巻き込んだ「共創」のマッチングシステムについても提言をいただきたい。

《委員》

テーマにある「地盤強化」は範囲が広すぎる。まずは周知による「意識向上」があり、その先に「組織づくり（地盤強化）」があるのではないか。2年間でどこまでやるのか。

《事務局》

2年で全ての結果を出すのは難しいが、次期への申し送りも含め、制度設計や市への実施提案（提言）をまとめる段階までを目指したい。

(3) その他

各委員より今期の感想が述べられ、情報の共有を行った。